

## LinkWare Live ご利用方法

 LinkWare™ Live



## 本書について

本書では、クラウドを利用してVERSIV の測定データをPCへ送信したり、VERSIV の設定情報をオフィスのPCから現場のVERSIV にインプットできるLinkWare Live の使用方法を説明します。LinkWare Live を利用することにより、テスター本体やメモリーをオフィスに持ち帰ることなく測定結果を現場から瞬時に転送できるので、測定結果の迅速な集計や測定結果の紛失の防止が可能になります。また、オフィスのPC上から現場にあるVERSIV の設定情報を作りこむ事ができるので、現場の作業者がVERSIV の操作に不慣れでも、正しい設定で測定を実行してもらう事ができます。

なお、VERSIV およびPC の画面表示は改良のため変更される場合があります。このため本書での表示と実際の機器の表示とが異なる場合がありますが、ご了承下さい

## 本書の内容

1. LinkWare Liveのアカウントを作る
2. VERSIVから測定結果をクラウドに転送する
  1. VERSIVをクラウドに接続するための設定
  2. クラウドへの結果の転送
  3. クラウド上のデータをPCに転送する
3. PCでプロジェクトを作り、VERSIVに転送する
4. より便利に使う
  1. 他のユーザーにアクセス権限を与える
  2. アセット情報の管理



VERSIV シリーズ

## 第1章 LinkWare Liveのアカウントを作る

### LinkWare Liveのアカウントを作る(方法1) - STEP 1

まず最初に、弊社HPでIDとパスワードを作成する必要があります。すでに、資料やソフトのダウンロードのために、IDとパスワードをお持ちの方は、それをそのままご利用になれます。

まだ、お持ちで無い方は下記の手順で作成して下さい。

アカウントの作成方法には2通りありますが、どちらをご利用頂いても構いません。

- ① <http://jp.flukenetworks.com/> へアクセスし、「サイン・イン」の中の「マイアカウント」をクリック



② 「アカウントを作成」のタブをクリック

ソリューション 製品 サポート コミュニティ ニュースおよびイベント 特約店を探す

ログイン アカウントの作成

ここにログインしたい場合はここをクリックしてください。

パスワード

パスワードを忘れた場合はこちらから

ログイン

電子メールアドレス/パスワードを入力してログインします。アカウントを作成するには、「アカウントの作成」タブを選択します。

まだ登録されていませんか？

アカウント作成のメリット：

- 自分の好きな分野のコンテンツをご覧になりたいですか？アカウントを作成して、自分に合った情報をご覧ください。
- アカウント作成のメリットについての詳細
- ゴールド・サポートの特典についての詳細

③ 必要事項を記入して"Create new account" をクリック

ログイン アカウントの作成

E-mail \*

ej@takahashi@fluke.com

有効な e-mail アドレスです。システムからのすべての e-mail は、このアドレスに送られます。e-mail アドレスは非公開にされ、新しいパスワードを受け取り、e-mail で特定のニュースや通知の受信を希望する場合にのみ使用されます。

名 \*

姓 \*

姓 \*

会社名 \*

T F F

住所 1 \*

〒100-0001

住所 2 \*

市 \*

地区 \*

CAPTCHA session reuse attack detected.

State or Province \*

Tokyo

郵便番号 \*

100-0001

国 \*

日本

電話 \*

03-6724-3117

優先電話 \*

日本語

会社 \*

ネットワーク技術/管理

ゴールド・サポート・メンバーのみ

ご自身のアカウントにゴールド番号と Pin 番号を関連付けるには、下記を入力してください。

ゴールド番号

PIN 番号

What code is in the image

Enter the characters shown in the image.

Create new account

④ 下記のメッセージが表示されれば入力は完了です。アカウントとパスワードを作成するメールが送られてきます。

FLUKE networks

サインイン | パートナー・サポート

ソリューション 製品 サポート コミュニティ

☒ A welcome message with further instructions has been sent to your e-mail address.  
☒ Profile updated.

⑤ メール中のリンクをクリックします。

Fluke Networks <FlukeNetworksInfo@flukenetworks.com>

17:31 (4 分前) ☆

To 自分

アカウントを作成していただきありがとうございます。

下のリンクをクリックして「アカウントを有効化」し、登録プロセスを完了してください。

<https://www.flukenetworks.com/user/reset/195577/1439541069/jn--vkkusFmKTF4XGda4fHF9lQIBXxqmRUbVtc5wvrtk>

他にご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

電子メール: [info@flukenetworks.com](mailto:info@flukenetworks.com)

電話番号: +1 425-446-4519

⑥ ログインをクリックします。



⑦ パスワードを設定します。

FLUKE networks

マイ AirMagnet | パートナー・サイト | 国/言語の変更 | お問い合わせ | マイアカウント | ログアウト

ソリューション ▾ 製品 ▾ サポート ▾ コミュニティー ニュースおよびイベント

✓ You have just used your one-time login link. It is no longer necessary to use this link to log in. Please change your password.

E-mail address \*

eiji0814fluke@gmail.com

This e-mail address for this account cannot be changed.

Password

Confirm password

パスワードの条件

- 最低6文字
- 大文字、小文字、数字、記号が含まれている

確認用に再度パスワードを入力

現在のユーザー・パスワードを変更するには、両方のフィールドに新しいパスワードを入力してください。

Picture

Upload picture

ファイルを選択 選択されていません

Your virtual face or picture. Pictures larger than 85x85 pixels will be scaled down.

▼ Locale settings

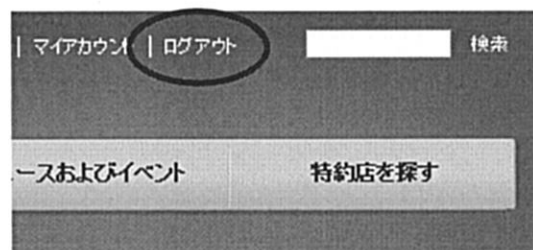
Time zone

Asia/Tokyo: Friday, 2015 年 8 月 14 日 - 17:37 +0900

Select the desired local time and time zone. Dates and times throughout this site will be displayed using this time zone.

**保存**

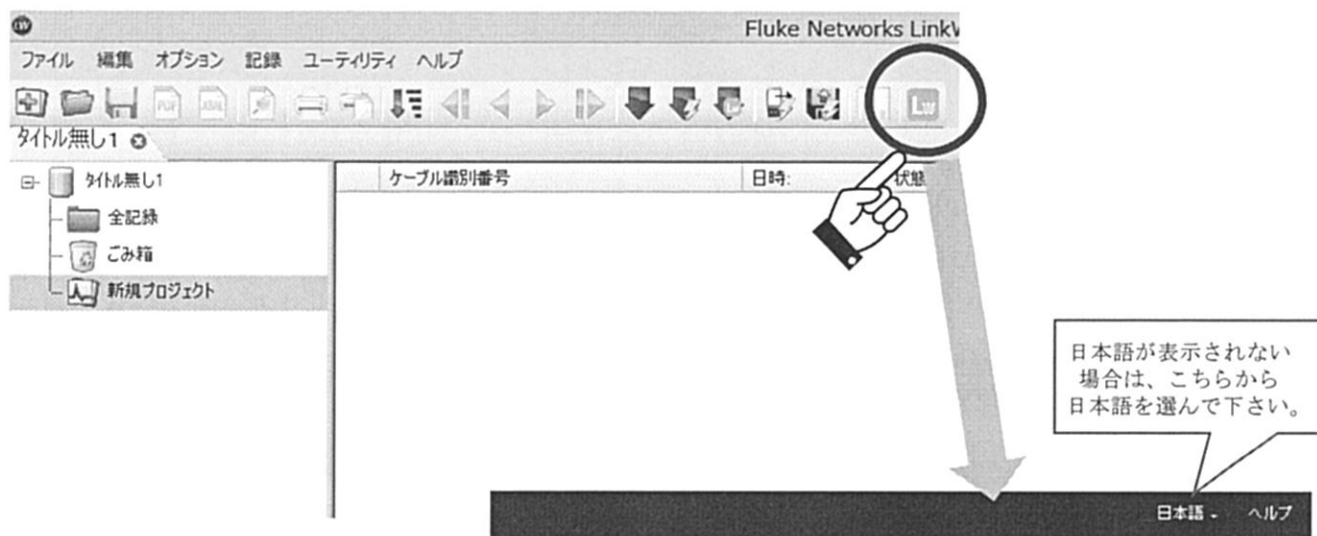
以上で終了です。画面右上に「ログアウト」の文字が表示されていれば、正常に登録が済んでいます。



\* 以上の操作に問題がある場合は、Internet Explorerでお試し下さい。

## LinkWare Liveのアカウントを作る(方法2) - STEP 1

- ① LinkWare を立ち上げ、LinkWare Liveのボタンをクリックします。  
(このボタンが見えない場合はLinkWareのバージョンが古いです。最新のバージョンをインストールして下さい。)



- ② 「ご登録はまだですか？」をクリック



- ③ 必要事項を記入するだけで完了です。

新しいアカウントを作成

速くて、しかも無料です。始めるのに Versiv は必要ありません。

名

姓

Eメール

パスワード

パスワードを確認入力

**パスワードのヘルプ**

- 1. 8文字以上の数字または英字
- 2. 大文字と小文字の区別あり
- 3. 1個の大文字
- 4. 1個の小文字
- 5. 1個の数字または特殊文字

## LinkWare Live にサインインする



登録したメールアドレスとパスワードを入力しサインインします。

画面右上に、XX' s Organization の文字 (XXには登録時の名前が入ります) が表示されていれば、問題無く登録およびサインインが来ています。



## ワンポイント：「XX's Organization」について

次郎' s Organization のメールアドレスとパスワードを入力



次郎's Organization

次郎' s Organization のメールアドレスとパスワードを入力



「XX' s Organization」は、クラウド上に作られたフォルダーのフォルダー名のようなものです。XX' s Organization を作成した際のメールアドレスとパスワードの組み合わせによりアクセスできます。ただし、XX' s Organization を作成した人以外がアクセスする場合には作成した人から招待を受ける必要があります。

## 「ワンポイント:XX's Organization」の表記を変更する

XX's Organization の表記を会社名など分かりやすい組織名に変更します



変更が完了しました。

## 第2章 VERSIVから測定結果をクラウドに転送する

### 1. VERSIVをクラウドに接続するための設定



本体左側のLANポートあるいはWi-Fiアダプターをネットワークに接続し、「ツール」をタッチします。



次ページへ続く

「ネットワーク」をタッチします。

接続が完了するとアイコン  
が表示されます。



IPアドレス等の設定を行います。接続  
が完了したら  をタッチし、「ツール」  
画面に戻ります。



「サインイン」をタッチします。



ID (メールアドレス) と、作成  
したパスワードを入力し「サイ  
ンイン」をタッチします。



作成したアカウント (この例では、  
高橋's Organization) に参加でき  
ました。「HOME」ボタンを押して、  
最初の画面に戻ります。

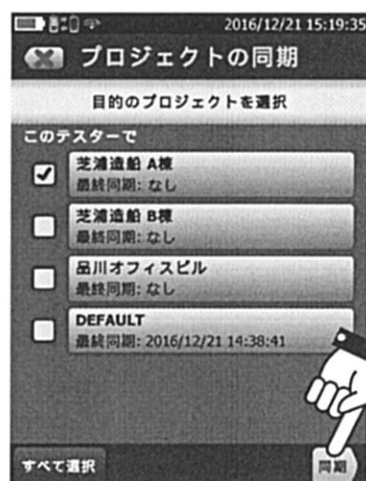


## 2. クラウドへの結果の転送

VERSIVからクラウドへ測定結果を転送します。



「同期」をタッチします。



転送するプロジェクトを選択し、「同期」をタッチします。この例では、芝浦造船 A棟プロジェクトのみ転送します。測定結果はプロジェクト単位で転送されます。「最終同期：なし」と表示されている場合は、プロジェクトが一度もクラウドに転送されていないことを示しています。



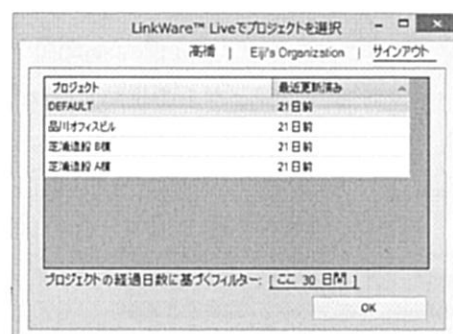
クラウドへの転送が完了しました。(VERSIV上のデータは削除されません)

## 3. クラウド上のデータをPCに転送する

LinkWare を立ち上げ  
をクリックします



メールアドレスとパスワードを入力



PCに転送したいプロジェクト  
を選択します。



後の操作はUSBケーブルで  
接続する場合と同じです。

**ご注意：インポートするとクラウド上のデータは削除されます。**  
\* サマリーデータは削除されません。

### 第3章 PCでプロジェクトを作り、VERSIVに転送する

プロジェクトはテスター上でも作成できますが、現場の作業者がテスターの設定に詳しくないような場合や、日本語で測定結果保存時のIDを作成したい場合には、操作に詳しい方がPC上でプロジェクトを作成し、それをクラウド経由で現場のテスターに送りこむ方が確実に迅速です。

#### 1. プロジェクトの作成



LinkWare Live を起動します。

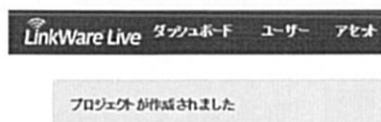


「プロジェクトの追加」をクリック

「保存」をクリックして確定

プロジェクト名を入力します。他の項目は、必要に応じて入力します。（空欄でも構いません。）

#### 2. 測定規格等を設定します。この内容は、テスター上で行う設定と同じです。



芝浦造船B棟

テストのセットアップ

ケーブル・タイプの構成

メディア:



設定したい測定規格に合わせて、メタル（銅線） / ファイバーの選択を行います。



芝浦造船B棟

テストのセットアップ

ケーブル・タイプの構成

メディア:

銅線

ケーブル・タイプ:

Cat 5A U/UTP

説明:

A地区

テスト

☒ Twisted Pair

Twisted Pair テストのセットアップ

テスト規格:

TIA Cat 5A Perm. Link

NVP:

68 2%

☐ AC ワイヤーマップ

HOTDR/HOTDRX:

☒ 不合格・合格・時のみ

☐ すべてのオートテスト

アウトレットの構成

T361B

☒ フロント・データを格納

「保存」をクリックして確定

テスター上での操作と同様、ケーブルタイプとテスト規格を選択します。（その他の設定は、通常の場合、デフォルトのままで構いません。）「説明」欄は必ず記入して下さい。

## ワンポイント:「説明」欄について

「プロジェクト名」は、一つの測定プロジェクトに対して作成するフォルダーのようなものですが、「説明」欄を利用することで、フォルダーの中にさらに“サブフォルダー”を作ることができます。  
例えば、下記のように施工場所ごとに測定規格やケーブルIDを作っておくことができます。

LinkWare Live

ダッシュボード ユーザー アセット ヘルプ

品川ビル

プロジェクト名

新しいテストのセットアップ

プロジェクト設定

ケーブル ID のインポート

ケーブル ID のエクスポート

プロジェクトの概要

すべての結果 (5)

幹線

スイッチ間

サーバー/スイッチ間

チーム・メンバー

テストのセットアップを編集

新しいケーブル ID セット

メディア・タイプ: 銅線

ケーブル・タイプ: Cat 6A U/UTP

テスト: Twisted Pair

テスト規格: TIA Cat 6A Perm. Link

ケーブル ID

ステータス

最後の更新

▶ ラックA (10)

5/10

3ヶ月前

「説明」欄に記入した内容が、タグに表示されます。

品川ビル “フォルダー”

幹線

測定規格: TIA-568-3.D

ケーブルID: AAA-001~AAA-024

測定結果

“サブフォルダー 1”

スイッチ間

測定規格: TIA Cat5e Channel

ケーブルID: BBB-001~BBB-024

測定結果

“サブフォルダー 2”

サーバー/スイッチ間

測定規格: TIA Cat6A Perm. Link

ケーブルID: BBB-001~BBB-024

測定結果

“サブフォルダー 3”

「説明」欄の活用は、どこにどのような配線を敷設したのかを確認するには大変便利な機能ですが、簡単に済ませたい場合には以下のような記載もお勧めです。

LinkWare Live

ダッシュボード ユーザー アセット ヘルプ

品川オフィスビル

新しいテストのセットアップ

プロジェクト設定

ケーブル ID のインポート

ケーブル ID のエクスポート

プロジェクトの概要

すべての結果 (0)

光(マルチモード)

CAT6A

チーム・メンバー

テストのセットアップを編集

新しいケーブル ID セット

メディア・タイプ: 光ファイバー

ケーブル・タイプ: OM3 Multimode 50

テスト: Loss/Length

テスト規格: TIA-568.3-D Multimode

ケーブル ID

ステータス

最後の更新

▶ 幹線-01-001 to 幹線-01-024 (24)

0/24

保留

▶ 幹線-02-001 to 幹線-02-012 (12)

0/12

保留

IDは複数組設定できます

3. ケーブルIDを設定します。ケーブルIDはテスター上でも入力できますが、PC上で行うと日本語で作成することも可能なので、後から LinkWare 上で日本語に書き直す必要が無く、後々の結果の管理も分かりやすくなります。

## 芝浦造船 B棟

新しいテストのセットアップ

プロジェクト設定

ケーブル ID のインポート

プロジェクトの概要

すべての結果 (0)

ラックA-B

チーム・メンバー

テストのセットアップを編集

新しいケーブル ID セット

メディア・タイプ: 銅線

ケーブル・タイプ: Cat 6 U/UTP

テスト: Twisted Pair

テスト規格: TIA Cat 6 Channel

ケーブル ID

ステータス

エクセル上で作成したIDを、このプロジェクトにインポートします。エクセルでIDが作成できるので、複雑なIDも簡単に作成できます。

“ABC-001” と言ったような簡単なIDであれば、こちらで作成します。テスター上で作成するIDと同様に、通し番号でのIDが簡単に作成できます。

## ワンポイント:「説明」欄について

“ケーブルID のインポート” を用いると、エクセルで作ったID をプロジェクトに追加することができます。

ケーブルIDセットに名前を付ける。  
(エクセルのファイル名では無く、LinkWare Live上での管理のための名前です。)

ケーブルIDセット

|    | A           |
|----|-------------|
| 1  | 艦装工場-01-01  |
| 2  | 艦装工場-01-02  |
| 3  | 艦装工場-01-03  |
| 4  | 艦装工場-01-04  |
| 5  | 艦装工場-01-05  |
| 6  | 艦装工場-01-06  |
| 7  | 艦装工場-01-07  |
| 8  | 艦装工場-01-08  |
| 9  | 艦装工場-01-09  |
| 10 | 艦装工場-01-10  |
| 11 | 艦装工場-01-11  |
| 12 | 艦装工場-01-12  |
| 13 | 艦装工場-会議室-01 |
| 14 | 艦装工場-会議室-02 |
| 15 | 艦装工場-会議室-03 |
| 16 | 艦装工場-会議室-04 |
| 17 | 艦装工場-会議室-05 |
| 18 |             |

ダッシュボード ユーザー アセット ヘルプ

艦装工場  
Eiga Organization

艦装工場 B棟

新しいテストのセットアップ プロジェクト設定 ケーブル ID のインポート

エクスポート レポート

すべての結果 (0) ラックA-B チーム・メンバー

テストのセットアップを編集 新しいケーブル ID セット

メディア・タイプ: 銅線  
ケーブル・タイプ: Cat 6 U/UTP

テスト: Twisted Pair  
テスト規格: TIA Cat 6 Channel

ステータス 最後の更新

ケーブル ID のインポート

● LinkWare Live を使用すると、スプレッドシートからケーブルIDをインポートできます。スプレッドシートでは、すべてのIDを1列目に入力し、最後のIDの後に空白行を入力してください。

ケーブルIDセットの名前

艦装工場

インポートするスプレッドシート

ファイルを選択 Book1.xlsx

セパレートされているファイルのタイプ: .csv, .xlsx

これらのケーブルIDは、テストに照合付けますか?

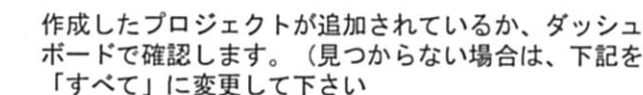
ラックA-B

複数のケーブルIDをインポートするには、複数のスプレッドシートを選択し、テストごとに個別にIDをインポートしてください。

インポート キャンセル

「インポート」をクリックして確定

4. 作成したプロジェクトを有効化（アクティブ）します。有効化することで、プロジェクトがテスターに転送可能となります。



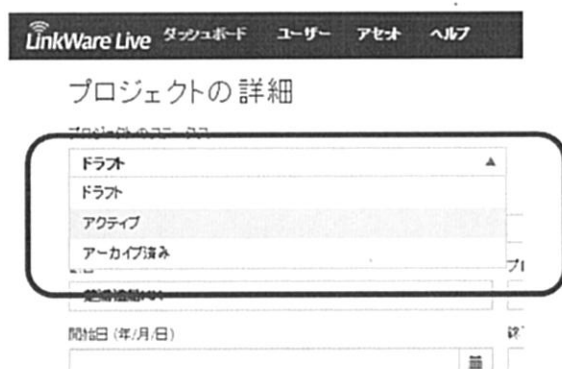
5. 作成したプロジェクトを有効化します。



「ステータス」がドラフトの場合、設定情報はPCに保存されていますが、クラウドには転送されていません。  
ドラフトのプロジェクトをクリックして、アクティブに変更します。

「プロジェクト設定」をクリック

6. 作成したプロジェクトを有効化します。



**ドラフト**

下書きの状態、設定は完了しておらず、プロジェクトはクラウドに転送されていないため、VERSIV にもこのプロジェクトは表示されません。

**アクティブ**

プロジェクトはクラウドに転送され、VERSIV上で利用することが出来るようになります。

**アーカイブ済み**

プロジェクトの内容はPCIに保存されますが、クラウドからは消去されます。必要な測定が一通り完了したら、「アーカイブ済み」に変更しておくとVERSIV に余分なプロジェクトが残る事を防止できます。

以上で設定は終了です。「保存」をクリックすると、クラウドにプロジェクトが自動的に転送されます。

クラウド内のプロジェクトをVERSIVに転送します。



サインインしてHOME画面で「同期」をタッチします。



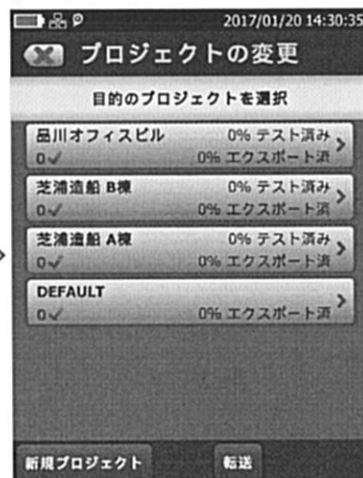
以上で終了です。

プロジェクト名のリストが転送されます。プロジェクトの内容全てを転送するには、必要な項目にチェックを入れて「同期」をタッチします

転送されたプロジェクトを利用します。



HOME画面より「プロジェクト」をタッチし、「プロジェクトの変更」をタッチします。

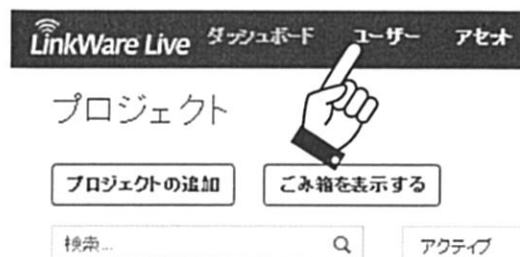


必要なプロジェクトを選択します。

## より便利に使う

### 1. 他のユーザーにアクセス権限を与える

他のユーザーにXX's Organization へのアクセス権限を与え、測定結果を共有したりプロジェクトを作成してもらったりすることができます。



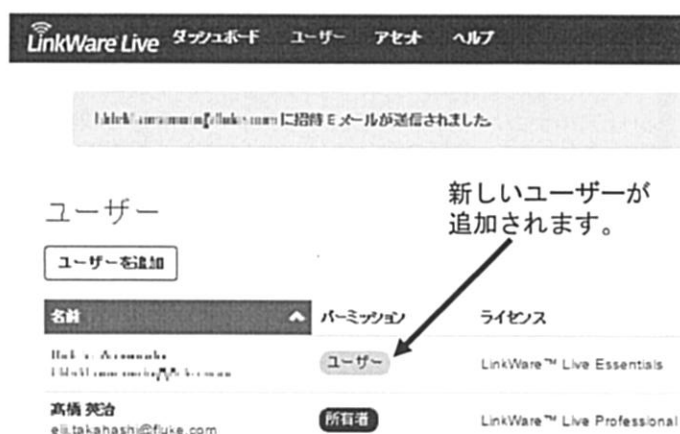
「ユーザー」をクリック



アクセス権限を与えるユーザーのメールアドレスを入力します。  
ユーザーには権限が与えられた旨のメールが到着します。



「ユーザーを追加」をクリック



新しいユーザーが  
追加されます。

## 2. アセット情報の管理

VERSIV を使用した場所やシリアルナンバー、校正日、ファームウェアのバージョンなどVERSIV の資産としての情報を一手に管理でき、稼働率を高めるなど機器の有効活用を実現できます。

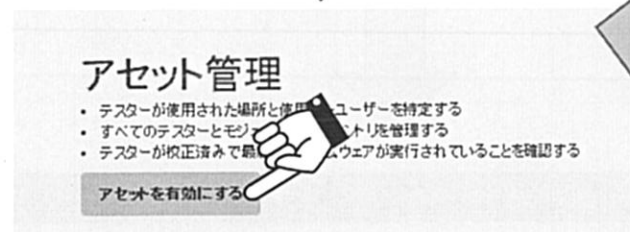


4件のプロジェクトを表示しています

「アセット」をクリック

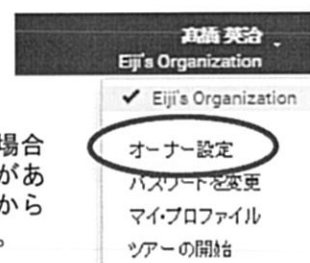


テストの位置が地図上に表示されます。



シリアルナンバーが付いているテストの情報の収集が開始されます。情報の取り扱いについては、画面下部の「プライバシーポリシー」をご覧ください

注：アセット管理が開始されない場合があります。右記の「オーナー設定」からアセット管理をオンにしてください。

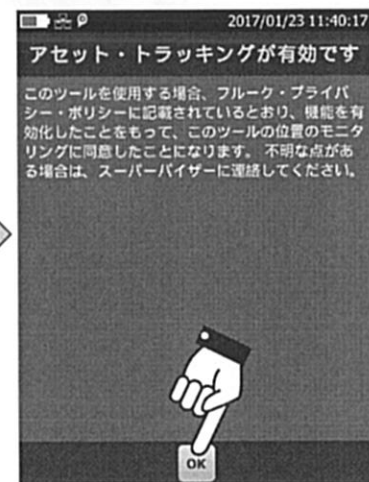


アセット管理をオンにした“Organization”に初めてアクセスする際には下記の警告が表示されます。情報を収集されない場合は、サインインしないで下さい。

アセット・トラッキング（情報の収集）がオンになっています。



画面上部のマークは情報収集がオンになっていることを示しています。



問題がなければ「OK」をクリックします。

サインインしようとする上記の注意が表示されます。記載内容については右記の「アセット・トラッキングが有効です」の表示を参照して下さい。